

入れ再開をしていない日本は取り残され、これまでの客層が世界各地の競合目的地に流れている現状がある。国際クルーズ船の再開はコロナ禍で疲弊している地域経済や観光産業の回復に大きく貢献されることが期待でき、さらに国際交流都市を標榜する本市において今後の地域の発展には欠かせない。

よって当市議会は、政府においては国際クルーズ船受け入れに関するガイドラインの早急な策定と早期の水際対策の緩和措置を求める。

（結果）全開一致で可決
提出先
内閣総理大臣、内閣官房長官、国土交通大臣、厚生労働大臣、沖縄北方対策担当大臣

○要請
沖縄県関係国会議員



石垣市不戦と平和を希求する決議

要旨
提出者 石垣 達也

今年8月2日、アメリカのペロシ下院議長によるアジア歴訪の一環としての台湾訪問に中国が反発し台湾周辺で大規模な軍事演習を行い、発射されたミサイルのうち一発が波照間島近海の日本のEEZ内に着弾したことは八重山郡民を始め日本中に衝撃を与えた。

平和を望まない人はいない。戦争は多くの人々の苦しみ悲しみ憎しみを生むだけである。戦争が起きないよう平和への思想、生命尊厳の思想が必要であり、石垣市には「世界平和の鐘」が存在し「非核平和都市」「核廃絶平和都市」を宣言している。その意義を世界に向けて常に発信し続ける使命がこの島にはあると考える。よって石垣市議会は「平和発信の島」、「平和を希求する島」との決意のもと以下、決議する。

記

一、私たちは、市民の命と暮らしと未来を守るため、世界に向け「平和の島、石垣島」を発信し続ける。

一、私たちは、八重山諸島に脅威を及ぼす台湾海峡及び、尖閣諸島周辺における戦争、そして世界の全ての戦争に反対する。

一、私たちは、世界へ「世界平和の鐘」、「非核平和都市宣言」、「核廃絶平和都市宣言」の意義を伝え、世界に誇れる平和発信の島を築くため邁進する。

中国公船（艦艇）による尖閣諸島周辺海域への領海侵犯行為及び石垣島近海までの追尾に対し毅然とした対応を求める意見書

要旨
提出者 仲間 均

当市行政区域で日本の領海である尖閣諸島周辺海域で漁労していた八重山漁協所属の漁船に威嚇しながら接近した中国の公船（海警局所属の艦艇）が、EEZである石垣島の近海まで追尾したことが10月1日、明らかとなった。当該漁船は尖閣諸島周辺海域で漁労するため9月30日午後、石垣市の登野城漁港を出港し、1日午前、尖閣諸島南小島周辺海域に到着したが、中国

の艦艇は尖閣諸島周辺海域に到着する前から当該漁船を追尾し、操業中も常に漁船を威嚇するように接近した。

これまで、中国艦艇の行動に対して日本政府は、主権の侵害であるとして中国政府に対して厳重な抗議を行ったが、中国は尖閣諸島周辺海域を自らの領海と主張し、日本の漁船が違法操業したと、法の執行権を主張している。日本の領海内で中国の艦艇が領海侵犯及び威嚇による漁船の追尾を繰り返しているのが実態である。

よって、日本政府に対して毅然とした対応で中国艦艇の排除を求める。

（結果）賛成多数で可決
提出先
内閣総理大臣、内閣官房長官、外務大臣、防衛大臣、国土交通大臣、海上保安庁長官

○要請
沖縄県選出国会議員



旧県立八重山病院跡地を医療機関への提供（売買あるいは賃貸）を求める意見書

要旨
提出者 友寄 永三

令和4年10月12日の沖縄県議会において、病院事業局の局長が旧八重山病院跡地を職員住宅にしたいという方向性を示しました。大規模な医療施設は、借り上げも厳しく適正な場所を見つけないのは非常に困難なことである事を考えれば医療機関にこそ必要な場所だと考えます。「八重山の医療を守る郡民の会」も旧八重山病院跡地は、医療施設建設地として適地であるとしており、当市議会も令和元年9月17日に「旧県立八重山病院跡地に医療機関開設を求める意見書」を可決要請しております。

よって当市議会は旧県立八重山病院の跡地には医療機関の配置がバランスとして最善策であるとし1日も早い実現が叶うよう関係当局の理解と、取り組みを強く求めます。

（結果）全会一致で可決

提出先宛先 沖縄県知事

○要請 沖縄県議会議長、地元出身県議会議員